


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01増築工事費

事務事業番号 01010117

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
医局棟増築事業		682,715 千円	千円	千円	680,600 千円	2,115 千円
市立病院事務部 経営管理課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		医療需要に対応するため医師数が増加。それに伴う医局スペースの狭隘化を解消することにより、医師の職務環境の改善を図ります。				
事業の必要性		医局スペースの狭隘化の解消により職務環境が改善され、安定した医師の確保にもつながり「質の高い医療」の提供が可能になると考えます。				
事業の内容 SDGs17の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 実施設計開始 ・平成30年度 建設工事開始 ・令和2年2月 完成・移転 <p>プレキャストコンクリート造 3階建 延べ床面積 1,492.66㎡</p>				
		外 観		医局ブース		
						
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	682,715 千円	担当正規職員	1,405 千円		0.2 人	
人件費	1,632 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	千円		人	
総 計	684,347 千円	再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	227 千円		0.1 人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由		医局スペースの狭隘化が解消され医師の職務環境が改善されたことから、事業の有効性・効率性ともに高と評価しました。				
事業の課題、今後の方向性等		維持管理経費の増加による経営への影響や、旧医局スペースの有効活用などを検討し、より質の高い医療の提供を目指すため、安定した医療体制の実現に努めます。				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 02固定資産取得費

事務事業番号 01010218

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
医療機械器具整備事業		302,386 千円	5,700 千円	288,700 千円	2,500 千円	5,486 千円
市立病院事務部 経営管理課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		東胆振・日高の医療圏域を対象としており、高度な医療需要に対応した医療機器の導入や更新等の整備を進めます。				
事業の必要性		住民の健康を確保するため、自治体病院として医療機器の整備は不可欠であり、厳しい経営環境の下ではありますが医療水準の維持・向上は必要であると考えます。 また、限られた医療資源を効率良く効果的に使用し、圏域の基幹病院としての役割を果たします。				
事業の内容 SDGs17の目標		主な機器の整備内容 ・手術支援ロボット「ダビンチ」 機器の説明:ロボットアームを操作して内視鏡手術を行う機器。 整備の理由:圏域の基幹病院として、高度な医療需要への対応及び低侵襲な手術の実現のため導入しました。				
						
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	302,386 千円	担当正規職員	2,108 千円		0.3 人	
人件費	2,108 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	千円		人	
		再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
総計	304,494 千円	臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	医師数		人	73	77	80
	紹介患者数		人	8,955	8,758	8,749
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性(費用対効果)		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由		医療機器の導入や更新は「質の高い医療」を提供をする上で必要不可欠であり、診断や治療の際に使用しても大きな収益につながらない保険点数が低い機器であっても、様々な傷病に対応するために備えておく必要があります。 これらのことから、効果の達成は高と評価としました。 一方で、費用対効果の観点で、整備した全ての医療機器を高い評価とすることの判断は難しいものと考え、中と評価としました。				
事業の課題、今後の方向性等		札幌圏を除く道内の多くの医療圏域では、医師等医療スタッフが不足している状況にあります。今後も安定した医療体制を実現するためには、医療スタッフの安定的な確保が重要となります。このため、当院では、従来どおり大学等との関係を良好に維持するとともに、医師等の働き方改革を推進するなどして医療スタッフにとっても魅力ある病院づくりを進めていきます。 また、当院は、圏域内の高度急性期及び急性期医療の提供を維持するとともに、地域包括ケア病棟などを活用して「切れ目のない医療」の提供を目指していきます。そのためにも医療技術の進歩に合わせた高度医療機器を計画的に整備していきます。				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 03長期貸付金

目 01学資金貸付金

事務事業番号 01030119

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳																											
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源																								
学資金貸与事業		42,750 千円	千円	千円	1,800 千円	40,950 千円																								
市立病院事務部 経営管理課																														
根拠法令	苦小牧市立病院学資金の貸付けに関する条例																													
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																													
事業の目的・対象	将来、当院で看護師等の業務に従事しようとする優秀な人材の育成及び確保を目的として、看護師等養成機関の就学者に対して学資金を貸与します。																													
事業の必要性	看護師の確保対策として、平成23年度から復活した制度で、質の高い安定的な看護を提供するためにも必要であると考えます。																													
事業の内容 SDGs17の目標	<div style="display: flex; align-items: center;">  <p>募集に当たっては、将来の必要人員を踏まえ、例年9月・3月に募集を行い、予算の範囲内で最大限制度の活用を図っています。具体的には、看護師免許取得可能な道内の高校・大学・看護学校等に対して資料を送付して利用を呼び掛けています。 また、令和元年度から薬剤師を目指す就学者にも対象を拡充し、学資金月額15万円を貸与することとしました。</p> <p>【令和元年度 決算額】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>看護師</td> <td>51人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>12か月</td> <td>=</td> <td>30,600千円</td> </tr> <tr> <td>助産師・薬剤師</td> <td>6人</td> <td>×</td> <td>150千円/人</td> <td>×</td> <td>12か月</td> <td>=</td> <td>10,800千円</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1人</td> <td>×</td> <td>150千円/人</td> <td>×</td> <td>9か月</td> <td>=</td> <td>1,350千円</td> </tr> </table> </div>						看護師	51人	×	50千円/人	×	12か月	=	30,600千円	助産師・薬剤師	6人	×	150千円/人	×	12か月	=	10,800千円	薬剤師	1人	×	150千円/人	×	9か月	=	1,350千円
看護師	51人	×	50千円/人	×	12か月	=	30,600千円																							
助産師・薬剤師	6人	×	150千円/人	×	12か月	=	10,800千円																							
薬剤師	1人	×	150千円/人	×	9か月	=	1,350千円																							
コスト		人件費																												
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数																									
事業費 (R1年度決算額)	42,750 千円	担当正規職員	1,405 千円		0.2 人																									
人件費	1,405 千円	嘱託職員	千円		人																									
		再任用(フル)	千円		人																									
総計	44,155 千円	再任用(ハーフ)	千円		人																									
		任期付職員	千円		人																									
		臨時職員	千円		人																									
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度																								
	学資金貸与者数		人	58	55	53																								
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																											
	事業の効率性（費用対効果）		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																											
自己評価の理由	安定した医療体制の実現には医療スタッフの安定確保は不可欠であり、この事業の果たす役割は大きいことから、有効性は高と評価しました。 効率性においては薬剤師学資金貸与者の入職は令和2年度のため、中と評価としました。																													
事業の課題、今後の方向性等	制度のPR方法を工夫するとともに、償還免除に伴い退職することなく長く勤務していただけるよう、魅力ある病院づくり・働きやすい職場環境の実現を目指していきます。																													
特記事項																														